

◇ 成基グローバルキッズ倶楽部



成基グローバルキッズ倶楽部では、野外教育事業と理数教育事業の2つの事業を実施しています。野外教育では「ガイアレンジャー」という自然体験のプログラムを実施しています。

このプログラムでは、出会いコース（年中～年長）体験コース（小1～小4）冒険コース（小3～中3）の年齢に沿った3つのコースがあり、子ども達の感受性や、自立心を養うプログラムとなっています。他にも、夏休みなどの長期休暇を利用し、石川県の能登島や沖縄の無人島、北海道など日本の様々な場所での自然体験も行っています。

また、理数教育では「ダビンチ」という本格的な理科実験を実施。ダビンチでは、実験を通し、好奇心や論理的思考力を養います。成基グローバルキッズ倶楽部では、これらのプログラムから、子ども達が、自ら学ぶ力を育てていくサポートをしています。

◇ まち遊びフェスティバル実行委員



まち遊びフェスティバルとは、「遊び」という親しみやすい入り口から入り、約3ヶ月間の準備期間を通して、いろんな人との出会いや、地域社会に対する前向きな関わり、そして多くの成功・失敗を体感できる人材育成プログラムです。

1995年に開催して以来、本年で11回目を数え、スタッフも延べ1000人を超えています。近年このイベントにスタッフとして関わってくるほとんどの人が、まちづくり運動などを経験していない、いわゆる「素人」です。客観的に眺めていると気付くのですが、参加の動機は「おもしろそう」という非常に稚拙なものです。

以前は、自分たちの思い(例えば新しい遊び)を自慢したり、何かの提案をしたくて、という人がかなりの数を占めていました。決して悪い傾向とは思いませんが、実行委員会にはそれなりの対処が要求されています。「苦労の数に比例して成果がある」という単純な方程式を理解していただくところに苦労があるのです。このイベントは多くの企業の協賛や自治体からの助成金を受けています。これは、当実行委員会の活動に対する期待ですから、関わってくれたスタッフに有意義な体験をしていただくことが、実行委員会にとっての課題となってきます。しかしながら、乗り越えるべき課題が大きければ「思っていたのと違う」といった具合に逃げ出そうとするのです。「いかにして課題を乗り越えてもらうのか」ここは当実行委員会の企業秘密でございます(^.^)